

資料提供			
月日(曜日)	担当課(室)	電話	担当者
3月11日 (月)	グリーン社会推進課	2343	松永・松田

コウノトリ(鳴門板東ペア)の今シーズン最初の産卵の推定 及び「見守り」への御協力について

認定NPO法人とくしまコウノトリ基金は、2017年から2023年まで7年連続で野外繁殖に成功した鳴門板東ペアについて、観察カメラの映像を基に「3月9日までに今シーズン最初の産卵があったもの」と推定しました。

県民の皆さまには、コウノトリが安心して抱卵ができるよう、「巣に近接した撮影・観察」はご遠慮ください。

また、巣の周辺の農作業や道路の通行の妨げにならないよう、「撮影・観察のための車両の乗り入れ」の自粛に御協力をお願いします。

調査結果

	3月6日 (水)	3月7日 (木)	3月8日 (金)	3月9日 (土)	3月10日 (日)
調査時間(分)	780	780	780	780	780
巣を留守にした時間(分)	6	6	2	0	0
巣に伏した時間(分)	98	135	176	469	516
伏した時間の割合(%)	12.6	17.3	22.6	60.1	66.2

(参考) 産卵を推定する指標

認定NPO法人とくしまコウノトリ基金は、「兵庫県立コウノトリの郷公園」及び「コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPM-OWS)」が使用している次の指標をもとに推定。

1日7時間(=420分)以上の観察で、その間、親鳥が長時間(経験的には10分以上)巣を留守にすることなく、以下の事象が確認されれば産卵が推定される。

- ・オスメス合わせて50%以上の時間巣に伏していたら、初めての産卵の可能性が高い
- ・伏す割合が80%を超えれば、本格的な抱卵に入っていると推定される